

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	釧路市児童発達支援センター保育所等訪問支援事業所		
○保護者評価実施期間	令和7年8月20日		～ 令和7年9月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	令和7年8月20日		～ 令和8年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○訪問先施設評価実施期間	令和7年8月20日		～ 令和7年9月10日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者)	3	(回答者) 1
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	経験豊富な支援員を配置し、また、多職種連携を行ない、こども一人一人に対しオーダーメイドの支援を行っている。	・対象のお子さんに合わせた支援ツールを用意し、日常的な支援に取り入れられるよう、所属園に提供している。 ・発達段階や支援の方向性の統一を目的に、定期的な評価を保護者と所属園担当者が同席のもとで実施している。	お子さんの状態に合わせて、運動面や言語面へのアプローチなど、多職種での支援を充実させていく。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援員の数に限りがあるため、契約件数が限られてしまう。	支援員が不足している。	受入れ拡大に向けて取組みを検討していく。
2			
3			